



2010年11月20日

みなさん、こんにちは。今日は、「関西文化の日」事業で、来館いただいたお客様には無料でご観覧いただいています。

● 『明石の弥生人』展、開催中です！



1階特別展示室正面

企画展『発掘された明石の歴史展 明石の弥生人』が開催中です。

おととしと昨年にも行った兵庫県立図書館との共催企画の資料展は、今年も本展と同時期に県立図書館で行われています。

『明石の弥生人』展では、弥生時代前期から後期中頃までを取り上げていますが、今回の出品の中でも最もインパクトがあるのは、新方(しんぼう)遺跡出土の人骨2体ではないでしょうか。

いずれも身長158cm程度で、縄文人の特徴を残した弥生前期の“最古の明石の弥生人”といえるものだそうです。戦いの中で死亡したと見られ、一緒に出土したたくさんのやじりも出土した状態のままに展示されています。

このほか、明石川流域の玉津田中遺跡や吉田遺跡などの出土遺物も展示されています。会期は、来月19日(日)までです。今から3,000年も前の明石川流域の弥生時代の姿に、想いを馳せてみてはいかがでしょうか。

● 明石の歴史風景を彫画でめぐる

明石の名所を描きこんだ地図などでおなじみの彫画家・伊藤太一さんが手がけた『明石の歴史風景を訪ねて 彫画でめぐる旅』(1,680円)を、博物館の受付横で販売しています。

伊藤太一さんの作品によく登場する着物姿の女の子と共に、版画のような太い黒い線で明石の風景が描かれ、その歴史的な由来や背景などを説明した小文が添えられています。

ガイドブックとはまた違った趣のある明石の歴史案内となっていますので、ご来館の際に、ぜひ手にとってみてくださいね。



当館の受付で販売中！

● 明石市美術展の入選作品の展示

明石市と明石市文化団体連合会の主催で行われる、第57回明石市美術展の審査が先日14日(日)に行われました。今年度は総出品数427点(日本画36 工芸64 書道85 洋画155 彫刻9 写真78)でした。

入選作品の展示は、前期(日本画・工芸・書道)と後期(洋画・彫刻・写真)に分かれ、現在、2階ギャラリーで前期を開催中です(～21日午後4時まで)。後期は24日(水)から28日(日)まで。時間は午前9時30分から午後6時までで、最終日のみ午後4時までになります。

観覧は無料ですが、1階の特別展示室では企画展『発掘された明石の歴史展 明石の弥生人』(大人200円、大高生150円、中小生100円)を開催しています。企画展をご覧になる場合は、観覧券をお求めください。



前期展示の会場の様子

【明石市美術展の問合せ先】 明石市文化振興課内 明石市美術展事務局 ☎(078)918-5607

● イベントで制作した巨大パレットを展示しています！

秋季特別展『描くひみつ、画家のすがお ―パレットと絵画の展覧会』では、10月30日(土)に「パレットに絵をかこう！」というワークショップを行いました。



巨大パレット(さて、何が描かれているでしょう!?)

当日は、パレットには丸や四角などいろいろな形のものがあり、指を通す穴や油絵の具を溶く油を入れる小壺をさせるようになったものもあるといったお話のあと、こども達は配られた段ボールに好きな形を描いてパレットを作りました。そして、そのパレットに実際に絵具をのせてみんなで巨大パレットに絵を描きました。

その時の巨大パレットを、館内に展示中です。こども達の共同制作は、たくさん色でいっぱいの素敵なパレットに仕上がっています。特別展示室脇の壁面にありますので、ご覧になって下さいね！

街を歩いていると、もうクリスマス商品が店頭で並んでいますね。博物館はクリスマスとは無縁ですが…飛び越して、新春の展覧会の準備が進行中。年末年始は12月28日まで開館し、年明けは4日から。4日は新春特別展も始まり、イベントも予定しています。今後、お知らせしていきますので、どうぞお楽しみに！